令和４年度　　（　宮城県立角田支援　）学校の研究概要　～令和５年１月末現在～

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　運営委員氏名（　大浦真奈美　）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究テーマ | 児童生徒の実態に応じた食に関する指導の工夫  ～食に関する実態把握の工夫と授業実践を通して～ |
| 研究目標 | 食に関する指導の充実に向け，実態を適切に把握できるよう工夫し，児童生徒一人一人の実態に即した指導実践を積み重ねる。また，学部間の引き継ぎにも生かし，継続して指導することを目指す。 |
| 研究内容・方法等 | １　児童生徒一人一人の実態を的確に把握するため，食に関する実態シートを作成する。  ２　学級ごとに研究グループを編成し，実態シートを使い複数の教員で児童生徒の実態を把握する。  ３　学級の中から児童生徒を１名抽出し，食に関する指導の実践シートを作成する。  ４　食に関する指導の実践シートを基に情報を共有し指導実践を積み重ねる。  ５　必要に応じて，外部専門家（言語聴覚士等）や養護教諭，栄養教諭（栄養担当）等を活用し指導・助言を得る。  ６　ＰＤＣＡサイクルで指導内容や指導の手立ての修正を図る。  ７　摂食指導研修会など研修の機会を設定する。  ８　引継ぎの在り方を検討する。  ９　食に関する指導の全体計画と各学部の食に関する指導の年間計画を整備する。 |
| 研究の概要 | １　グループ研究に関すること  (1)「食に関する実態シート」を使い，児童生徒一人一人の実態を把握  (2)抽出対象児を決め「食に関する指導の実践シート」を作成  (3)「食に関する指導の実践シート」を基に実践  (4)指導実践の検討と改善（研究日を中心としてグループごとに実施）  (5)グループのニーズに応じ，言語聴覚士や栄養担当等の研究協力・指導助言  (6)「実践事例のまとめ」の作成（16グループの実践蓄積）  (7)「実践事例のまとめ」を基に，実践事例報告会を開催（2月1日開催予定）  ２　研究全体に関すること  (1)摂食指導研修会の実施（今年度は4月と7月に実施）  (2)外部専門家活用事業の活用  (3)引き継ぎの在り方の確認（「給食引継ぎカード」を小学部から高等部まで作成，「給食指導に関する確認書」の活用）  (4)食に関する指導の全体計画の整備（これまでの計画を修正）  (5)食に関する年間指導計画の整備（学部ごとに新規で作成） |